

令和3年度 那須塩原市建設工事成績評定結果

1. 対象

那須塩原市が発注した設計金額130万円を超える建設工事かつ、令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日）で契約検査課が実施する完成検査を終了した建設工事を対象とする。

建設工事完成検査件数

[単位：件]

工種別	令和3年度	令和2年度	増減
土木一式工事	55	55	0
建築一式工事	14	16	▲2
電気工事	21	15	6
管工事	32	18	14
舗装工事	24	31	▲7
水道施設工事	22	24	▲2
その他工事	21	13	8
計	189	172	17

2. 評定点

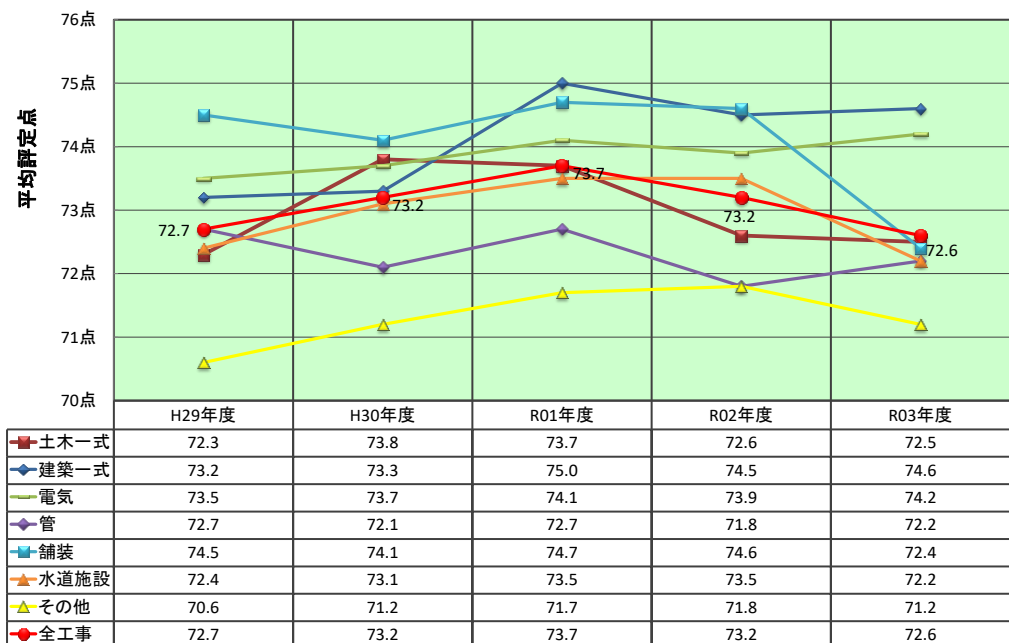
令和3年度に完成検査を実施した全工事の平均評定点は72.6点であり、直近3か年では大きな変化はないが、減少傾向にある。（図1参照）

前年度との比較では、全体で0.6ポイント下降し、工種別では、建築一式工事、電気工事、管工事を除く種別で下降する結果であった。

図1. 令和3年度 建設工事【工種別一平均、最高、最低工事成績評定】



図2. 過去5か年の建設工事【工種別一平均工事成績評定点推移】



3. 総合評価

総合評価のランク（以下、評価という。）別に分類した場合の令和3年度における工事件数は、A評価は6件、B評価は54件、C評価は128件、D評価は1件、E評価は0件である。（図3参照）

A評価対象工事については、令和2年度で3.4%であったが、令和3年度は3.2%と横ばいであった。B評価については、令和2年度の32.6%から、28.6%に下降している。C評価については、令和2年度の64.0%から、67.7%に上昇している。今後改善すべき事項があるD評価対象工事は1件あったが、指名に影響を及ぼすおそれのあるE評価対象工事は0件であった。

図3. 令和3年度建設工事【工種別一総合評価】件数分布状況

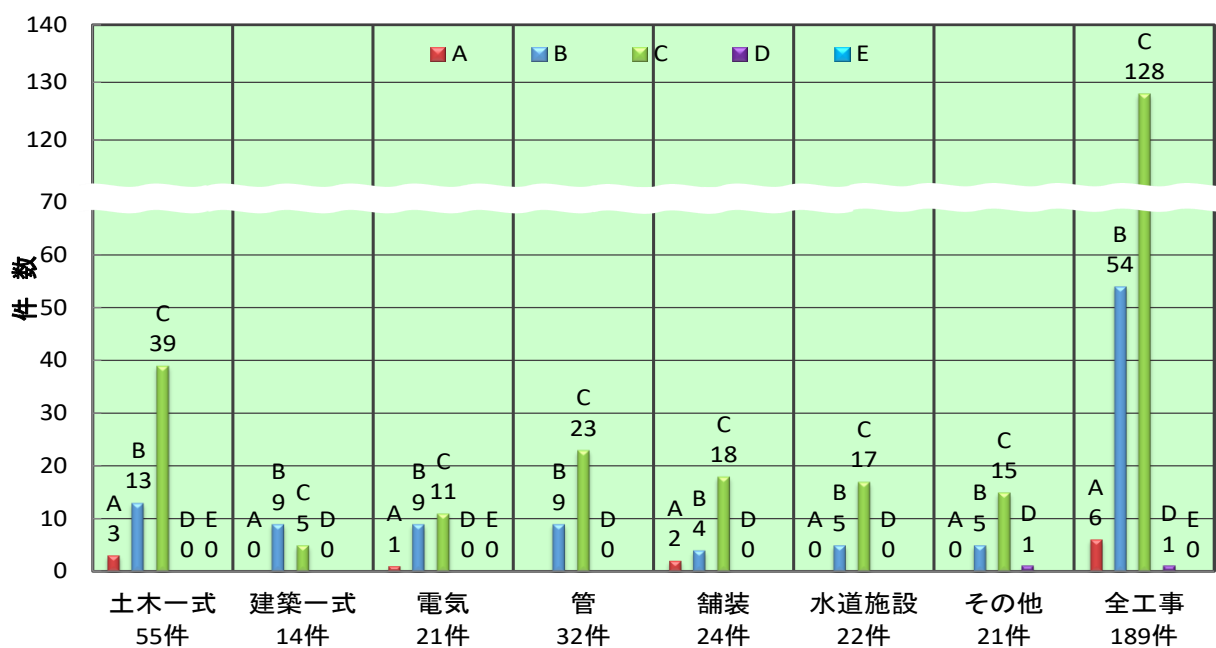


図4. 令和2年度建設工事【工種別—総合評価】件数分布状況

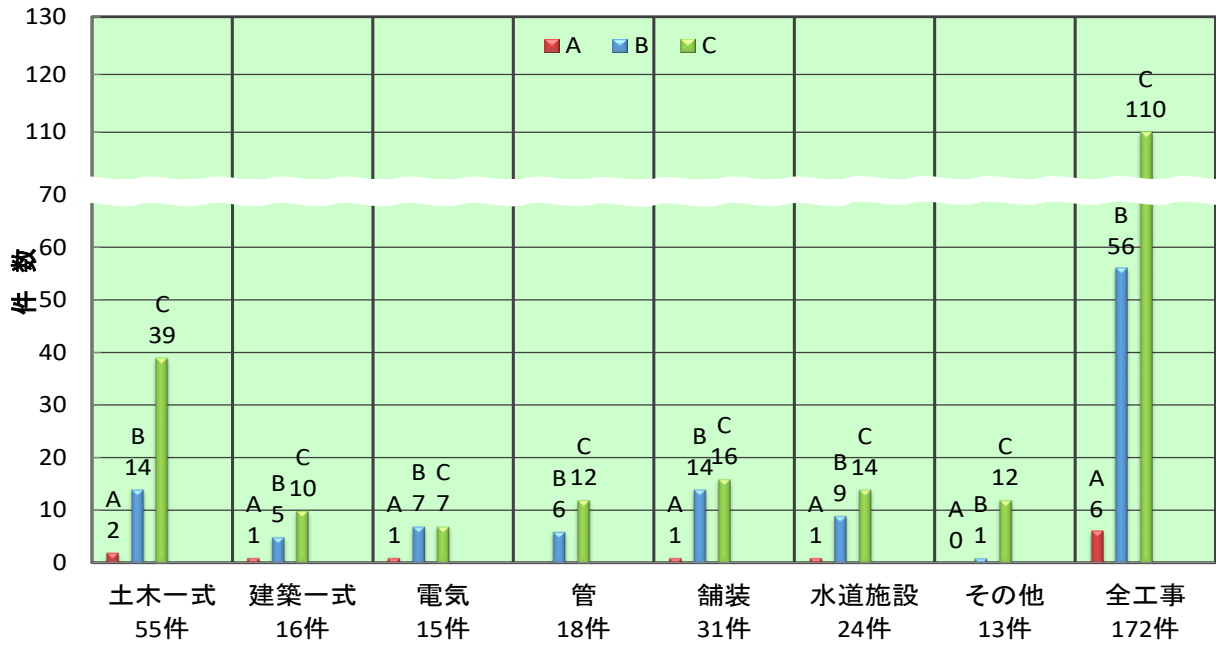


表1. 総合評価の標準

ランク	評定点の標準値	総合評価の標準	
A	80点以上	他の模範となる優秀な工事	
B	75～79点	標準的工事	Aランクではないが、標準的工事の中で優秀なもの
C	65～74点		標準的な工事
D	60～64点		Eランクではないが、今後改善すべき事項がある工事
E	59点以下	今後指名等に影響を及ぼすおそれのある工事	